千葉県誕生150周年記念事業

100年後芸術祭
環境と欲望
内房総アートフェス

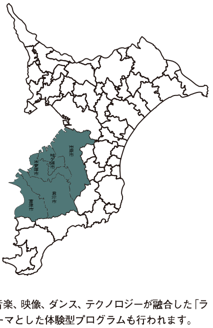
百年後芸術祭～環境と欲望～内房総アートフェス
2024年3月23日(土)～5月26日(日)

会場：市原市、木更津市、君津市、袖ケ浦市、富津市
総合プロデューサー：小林武史　アートディレクター：北川フラム

開催時間：10時～17時
※作品によって公開日・公開時間が異なる場合あり　※火・水曜日定休（4月30日・5月1日は除く）
主催：内房総アートフェス実行委員会、市原市、木更津市、君津市、袖ケ浦市、富津市 / 後援：千葉県

開催概要・コンセプト

内房総アートフェスとは



市原市、木更津市、君津市、袖ケ浦市、富津市の内房総5市による、アート、クリエイティブ、テクノロジーの力を融合した、新しい形の芸術祭です。
百年後の未来をつくっていくための持続可能なプラットフォームとして、千葉県誕生150周年記念事業の「百年後芸術祭」が展開されている中で、内房総5市の広域連携、官民協同による初の試みとして開催します。
総合プロデューサーは、会場の一つであるクルックフィールズ（木更津市）を営む音楽家の小林武史、アートディレクターは、「いちはらアート×ミックス」など地域に根ざした芸術祭を数多く手掛ける北川フラムが務めます。
国内外のアーティストによる多様な作品が内房総5市の各地に展示されるほか、音楽、映像、ダンス、テクノロジーが融合した「ライブ・アート・パフォーマンス」、食をテーマとした体験型プログラムも行われます。
芸術祭を通じて、百年後を一緒に考えていきましょう。

【会期】2024年3月23日(土)～5月26日(日) ※火・水曜日定休（4月30日・5月1日は除く。一部施設定休日が異なる）（全49日）
【開催時間】10時～17時 ※作品によって公開日・公開時間が異なる場合あり
【会場】内房総5市（市原市・木更津市・君津市・袖ケ浦市・富津市）
【総合プロデューサー】小林武史
【アートディレクター】北川フラム
【クリエイティブディレクター】大木秀晃
【市原アートディレクター】豊福亮
【デザイン】長嶋りかこ（監修）、ヤング荘

アート

内房総を舞台に、アーティストたちが創造力を発揮し、新たな芸術作品を発表します。総勢約80組の気鋭の現代アーティストを国内外から招聘し、絵画、彫刻、映像、インスタレーションなど、多様な手法を用いて表現されるアート作品約90点を屋内外に展示します。来場者はアート作品を道しるべに5市を巡ることで、その土地の魅力を発見することができます。

千田泰広

©YAYOI KUSAMA, Courtesy of Ota Fine Arts
草間彌生

作品鑑賞パスポート

	前売 ［販売期間：2024年2月9日（金）～3月22日（金）］	当日 ［販売期間：2024年3月23日（土）～5月26日（日）］
一般	￥2,500	￥3,500
小中高	￥1,000	￥2,000
販売場所	各種プレイガイド、インフォメーションセンターほかで販売予定	

※県内の小中学生は無料引換券を配布。小学生未満無料
※障がい者手帳をお持ちの方は無料（介添が必要な場合は同行者1名無料）
※アート作品展示の全会場へ各1回入場可能（ただし、有料イベントや有料ワークショップなどは別料金）
※2回目からは個別鑑賞券が必要
※再発行、払い戻し不可
※詳細は決まり次第、右記の公式HPで公表予定

チケット販売

寄附協賛・助成

【特別協賛】
木下グループ KINOSHITA GROUP

【寄附協賛】
UNITED　Hotel Mikazuki JAPANESE RESORTS & SPA　自然環境を考える総合リサイクル企業 株式会社 富澤商店
NEXCO 東日本　マザー牧場 MOTHER FARM
地域未来牽引企業 杉田建材株式会社　株式会社キミツ鐵構建設
千葉砂礫興業株式会社　株式会社市原ニューエナジー　hide kasuga 1896
ジャパンクリーンテック株式会社　株式会社ヴェスタ　医療法人 実寿会 五井病院　Original maker

株式会社ヤマト、シティライフ株式会社、株式会社樹住宅、株式会社まんだのファーム、株式会社上野工業所、株式会社アルファ商事、中央産業株式会社、中央航運株式会社、カーセンターファースト株式会社、平野コンクリート工業株式会社、株式会社ユニベン、医療法人社団白金会、株式会社オンフェイス、有限会社花金、オープンロード合同会社、株式会社千葉銀行 五井支店（市原市内6支店代表）、学校法人三和学園　福増幼稚園、学校法人斎藤学園　青葉台幼稚園、協友工業株式会社、共立化成株式会社、医療法人社団高原会、日本管財株式会社

株式会社京葉銀行、株式会社千葉興業銀行　五井支店・辰巳台支店・国分寺台支店・光風台支店、コスモ石油株式会社　千葉製油所、ツルヤマテクノス株式会社、不二サッシ株式会社　千葉工場、不二ライトメタル株式会社、AGC株式会社　千葉工場、太陽工業株式会社、小湊鐵道株式会社、みどり産業株式会社、日本板硝子株式会社　千葉事業所

【助成】
Australian Government　豪日交流基金 Australia-Japan FOUNDATION　AUSTRALIAN EMBASSY TOKYO 在日オーストラリア大使館

2024年1月末現在

主催ほか

【主催】内房総アートフェス実行委員会、市原市、木更津市、君津市、袖ケ浦市、富津市
【後援】千葉県
【オブザーバー】千葉日報社、千葉テレビ、NHK千葉放送局、ベイエフエム、NEXCO東日本関東支社、JR東日本千葉支社、小湊鐵道、日東交通、千葉銀行、京葉銀行、千葉信用金庫、君津信用組合
【問い合わせ】内房総アートフェス実行委員会事務局
info@uchiboartfes.com　0438-38-6563（会期中の9:00～17:00）
https://100nengo-art-fes.jp/

テクノロジー・音楽

百年後を考える上で、テクノロジーは欠かすことができません。また、表現方法としてのテクノロジーも日々進化しています。今回総合プロデューサーを務める音楽家の小林武史は、音楽も一つの重要な表現方法として芸術祭に取り入れていきます。ライブ・アート・パフォーマンスを中心に、さまざまなミュージシャンやダンサー、クリエイターと共に、音楽、映像、ダンス、そしてテクノロジーが融合した新しい芸術表現にも取り組みます。

環境と欲望　百年後芸術祭　-Prologue-

クルックフィールズで行ったライブの様子

en Live Art Performance

en Live Art Performance

食

自然豊かな千葉県でとれた旬の食材を使って、そのおいしさを伝えるだけでなく、今ある豊かな環境をどう百年後に残していくか、ということを考えていきます。内房総は山の幸、海の幸に恵まれ、独自の食文化を持っています。この食文化を百年後にも伝えていくために、生産者、料理人など千葉の食に関わる皆さんと一緒に、内房総の食材を楽しめる飲食店や屋台、食について学ぶワークショップなどを実施、展開します。

EN NICHI BA

SATOMI HIROBA

作家一覧

秋廣誠、アコンチ・スタジオ（アメリカ）、淺井裕介、東弘一郎、アブドゥルラーマン・アブダラ（オーストラリア）、EAT&ART TARO、五十嵐靖晃、石川洋樹、イ・ビョンチャン（韓国）、岩崎貴宏、岩沢兄弟、岩間賢、梅田哲也、オラファー・エリアソン（デンマーク）、大西康明、大貫仁美、岡田杏里、岡博美、小沢敦志、小谷元彦、開発好明、角文平、ジョアン・カポーテ（キューバ）、カルロス・ガライコア（キューバ）、ソカリ・ドグラス・カンプ（ナイジェリア）、キム・テボン［金泰範］（韓国）、木村崇人、草間彌生、ダダン・クリスタント（インドネシア）、栗田宏武、CLIP、栗真由美、クワクボリョウタ、KOSUGE1-16、SIDE CORE、笹岡由梨子、佐藤悠、さわひらき、塩月洋生、時速30kmの銀河の旅、島袋道浩、鈴木ヒラク、鈴村敦夫、竹村京、田中奈緒子、千田泰広、チョウハシトオル、チョ・ウンピル（韓国）、東京デスロック、冨安由真、豊福亮、中﨑透、中根唯、名和晃平、ニブロール、リーロイ・ニュー（フィリピン）、沼田侑香、灰原千晶、リナ・バネルジー／ペギー・E・レイノルズ（インド）、ヘラルド・バルガス（メキシコ）、深澤孝史、藤本壮介、アレクサンドル・ポノマリョフ（旧ソ連［ドニプロ］）、槙原泰介、増田セバスチャン、武藤亜希子、毛利悠子、森靖、ラヴァル・モンロー（バハマ）、保良雄、柳建太郎、エルヴェ・ユンビ（カメルーン）、リュウ・イ［劉毅］（中国）、ディン・Q・レ（ベトナム）

※クルックフィールズ内に設置された作品群（カミーユ・アンロ、ファブリス・イベール、アニッシュ・カプーア、Chim↑Pom fromSmappa! Groupなどの作品）も、特別に公開予定です

2024年1月末時点（五十音順）

市原市

過去3回の「いちはらアート×ミックス」の成果を継承し、「アート×ミックス2024」として展開します。内田未来楽校、上総牛久駅周辺、市原湖畔美術館、旧里見小学校、旧平三小学校、月崎・田淵、月出工舎などがアート展示の拠点となります。

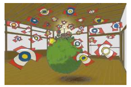
アブドゥルラーマン・アブダラ

石川洋樹

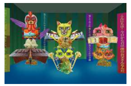
イ・ビョンチャン

大西康明

岡博美


角文平

ソカリ・ドグラス・カンプ


笹岡由梨子

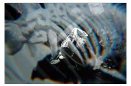
田中奈緒子

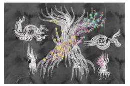
チョ・ウンピル

東京デスロック

冨安由真

豊福亮


ニブロール

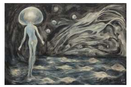

リーロイ・ニュー

リナ・バネルジー／ペギー・E・レイノルズ

毛利悠子

森靖

エルヴェ・ユンビ


リュウ・イ［劉毅］

ディン・Q・レ

木更津市

木更津駅周辺の情緒ある街並み、東京湾アクアラインの足元に残された貴重な自然の海岸である盤洲干潟、農業・食・アートを一度に体験できる施設クルックフィールズの3か所でアート作品を展開します。

淺井裕介

梅田哲也

オラファー・エリアソン

小谷元彦

草間彌生

SIDE CORE

島袋道浩

槙原泰介

増田セバスチャン

君津市

製鉄所が進出した高度経済成長期、八重原をはじめ君津市の各所で移住者が急増しました。やがて世代が一巡し、かつての団地や保育園が役目を終えつつある中、アートをきっかけとして再び人々が行き交います。

佐藤悠

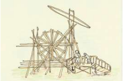
さわひらき

深澤孝史

保良雄

袖ケ浦市

都心から近い袖ケ浦市は、有数の工業地帯とのどかな田園風景が広がる町です。四季の花が咲き香る袖ケ浦公園周辺に作品を展開し、地域の歴史を学べるスポットがアート空間へと様変わりします。


東弘一郎

大貫仁美

キム・テボン［金泰範］

ダダン・クリスタント

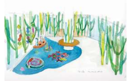
富津市

東京湾に突き出た富津岬周辺では、海苔の養殖、潮干狩りや海水浴、マリンスポーツなど、海の恵みの受け方も人それぞれです。埋め立ての歴史を振り返りつつ、現代アートが海辺の人々の心を魅了します。

五十嵐靖晃

岩崎貴宏

中﨑透


武藤亜希子

広域

内房総5市を舞台に、広域にわたって作品・プロジェクトを展開。さまざまな先生が教える開発好明の「100人先生の10本ノック」、参加アーティストや識者などによる「生きる力を養う学校」が各市を巡ります。

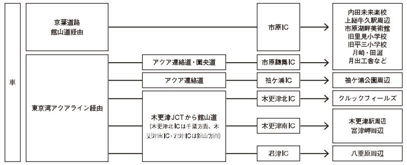
開発好明「100人先生の10本ノック」

生きる力を養う学校

※画像はイメージです。実際の展示作品とは異なる場合があります

※エリア別／作家（抜粋）の五十音順掲載

アクセス


車
京葉道路
館山道経由
市原IC
東京湾アクアライン経由
アクア連絡道・圏央道
市原鶴舞IC
アクア連絡道
袖ケ浦IC
木更津JCTから館山道
（木更津北ICは千葉方面、木更津南IC・君津ICは館山方面）
木更津北IC
木更津南IC
君津IC
内田未来楽校
上総牛久駅周辺
市原湖畔美術館
旧里見小学校
旧平三小学校
月崎・田淵
月出工舎など
袖ケ浦公園周辺
クルックフィールズ
木更津駅周辺
富津岬周辺
八重原周辺

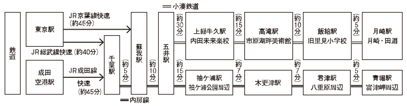
高速バス

東京駅
- ○木更津-東京線（木更津駅西口・木更津金田BT）
- ○鴨川-東京線［アクシー号］（クルックフィールズ入口・かずさアーク・袖ケ浦BT・木更津金田BT）
- ○君津-東京線（青堀駅・君津駅南口・君津BT・木更津金田BT）
- ○袖ケ浦-東京線［ガウライナー］（袖ケ浦駅北口・袖ケ浦BT）
- ○勝浦-東京線（市原鶴舞BT・木更津金田BT）

羽田空港
- ○蘇我・五井-羽田空港・横浜線（五井駅東口・市原BT）
- ○茂原-羽田空港・横浜線（市原鶴舞BT）
- ○木更津-羽田空港線（木更津駅東口・袖ケ浦BT・木更津金田BT）
- ○館山・君津-羽田・横浜線（君津駅南口・君津BT）

その他
- ○木更津・長浦-品川線（木更津駅東口・袖ケ浦駅南口・袖ケ浦BT・木更津金田BT）
- ○木更津-新宿線（木更津駅西口・袖ケ浦BT・木更津金田BT）
- ○木更津-渋谷線（木更津駅西口・袖ケ浦BT）
- ○木更津-川崎線（木更津駅東口・袖ケ浦BT・木更津金田BT）
- ○かずさアーク木更津-横浜線（かずさアーク・木更津駅東口・袖ケ浦BT・木更津金田BT）
- ○館山・君津BT・羽鳥野BS-新宿線（君津BT）
- ○千葉方面⇔大阪方面夜行バス（木更津金田BT・木更津駅・君津駅・君津BT）

BT=バスターミナル


小湊鉄道
鉄道
東京駅
JR京葉線快速
（約45分）
JR総武線快速（約40分）
成田
空港駅
JR成田線
快速
（約45分）
千葉駅
（約5分）
蘇我駅
（約10分）
五井駅
（約30分）
上総牛久駅
内田未来楽校
（約15分）
高滝駅
市原湖畔美術館
（約10分）
飯給駅
旧里見小学校
（約5分）
月崎駅
月崎・田淵
（約15分）
袖ケ浦駅
袖ケ浦公園周辺
（約7分）
木更津駅
（約7分）
君津駅
八重原周辺
（約5分）
青堀駅
富津岬周辺
内房線

巡り方

アート作品は、廃校や美術館、駅前など各市の拠点を中心に展開します。

○JR木更津駅や小湊鉄道の上総牛久駅などから、無料周遊バスが走ります。

○土・日・祝日を中心に、ガイド＆ランチ付きオフィシャルツアーも予定しています。

○自家用車で巡る場合は、公式ガイドブックや公式マップに記載された、作品付近の駐車場をご利用ください。

無料周遊バス・オフィシャルツアー・自家用車などを使って、作品巡りをお楽しみください。モデルコース、バスの時刻表、ツアーの申し込み方法など、詳細は公式ガイドブック・公式HPをご覧ください。（表紙の2次元バーコードまたは裏表紙のURL参照）

Photo: Naomi Circus, Tadashi Endo, Gentaro Ishizuka, 川崎一徳, Keizo Kioku, Eri Masuda, Takenori Miyamoto + Hiromi Seno, Osamu Nakamura, Kazusa Saikai, Taichi Saito, 辻徹, Jens Ziehe